

北海道旅客鉄道株式会社の運賃の改定について

令和元年8月30日
物価問題に関する関係閣僚会議

北海道旅客鉄道株式会社（以下「JR北海道」という。）の運賃の改定については、道内人口の減少や高規格幹線道路網の拡大などの影響により厳しい経営状況が続いていたこと、平成23年5月以降に発生した一連の事故や事象を受けて国土交通大臣から受領した事業改善命令等に基づく安全に関する設備投資や修繕を行ったことにより毎年400億円以上の営業赤字が発生したことなどを受け、JR北海道が策定した長期経営ビジョン及び中期経営計画による徹底した経営努力を前提に、令和元年10月1日の消費税率引上げ分と合わせ、40億円規模の運賃改定を実施する旨の申請があった。これについては、別紙のとおり運賃改定を認めることとし、あわせて、下記の方針により対処するものとする。

記

1. 政府は、JR北海道の長期経営ビジョン等に基づく取組を丁寧に検証し、その確実な実施のために必要な指導、助言を行うとともに、需要の変化について注視すること。
2. 政府は、本運賃改定の値上げ幅が小さくないものであること、及び、区間によって値上率が異なることに鑑み、運賃の改定に当たって、JR北海道に対して利用者の理解を得るための積極的な取組や丁寧な情報提供・説明・対話を行うよう求めること。

JR北海道の運賃改定の概要

1. 運賃・料金の改定率

区分	改定率	消費税率引上げに伴う改定率	運賃・料金改定に伴う改定率
普通旅客運賃	15.7%	1.8%	13.9%
通勤定期旅客運賃	22.6%		20.8%
通学定期旅客運賃	21.8%		19.9%
料 金	1.8%		0%
全 体	11.1%		9.3%

(注)

- ・通勤定期旅客運賃の割引率は48.9%、通学定期旅客運賃の割引率は72.4%であり、今回改定ではそれぞれ据え置く。

なお、消費税率引上げに伴う運賃・料金の改定分と、同社の実質運賃・料金の改定分は上記のとおりであり、また、消費税率引上げに伴う改定分に関しては、事業全体として110／108以内の増収となっている。

2. 初乗り運賃

	現 行	改 定	備 考
普通旅客運賃	3キロ170円	3キロ200円	札幌市営地下鉄3キロ210円(※)

(※) 10%消費税改定後の運賃（現在申請中）

3. 実施予定日

令和元年10月1日

4. 前回改定実施年月日

平成26年4月1日（消費税率引上げに伴う単純転嫁）

(なお、消費税率引上げに伴う単純転嫁を除いた実質改定は、平成8月1月10日であり、23年ぶりの改定。)